

1. ジャケットのポケットにモノを入れる

ジャケットのポケットは取り出しやすいため、ものを入れている営業マンも多いのではないかでしょうか。しかし、ジャケットのポケットに何か入れていると形が崩れてしまいます。ハンカチなど薄いものであれば問題ないかもしれません、スマホや財布を入れる習慣のある人はやめるようにしましょう。どうしてもという人は、外見に響かない程度に内ポケットに入れるようにすることをおすすめします。

2. ボタンを留めたまま椅子に座る

スーツのジャケットを着たまま椅子に座る時は、ボタンをすべて外すことが好ましいです。これもポケットにしわがよって外見が崩れてしまうためです。必ずしなければいけないマナーというわけではありませんが、相手により美しく自分を見せるためにボタンを外すのも一つのテクニックです。

3. シャツの袖口をすべて隠してしまう

シャツの袖口は1~2cmほど見せるのがポイントです。手を下におろした時にシャツの袖口が見えるようにジャケットの袖を調整することをおすすめします。しかし見え過ぎもよくありません。アームバンドなども活用して一番すっきり見せられるようにしましょう。

4. ネクタイが長い

ネクタイを結ぶ時には、大剣先(ネクタイの太い方の先)がベルトにかかるぐらいの位置にするとVゾーンが最も美しく見えます。長過ぎてもだらしなく見えてしまうため、自分で何度も結んで感覚を掴むようにするといいでしよう。

サイジングで大事なのは袖丈

相手に好印象を与えるスーツの選び方で一番大切なポイントは、袖丈の長さです。ちょうどいいスーツの袖丈というのは、両手を自然におろした時にシャツが1.5cm~2.0cm見えるくらいが目安とされています。

袖丈が短すぎるということはなかなかないと思いますが、袖丈が長い場合は相手に対して鈍くさい印象を与えてしまいます。身振り手振りで話すことが多いでしょうから、袖という部分は一番目につく箇所です。気を配るようにしましょう

フロントボタンの留め方

フロントボタンには、「実用」と「アクセント」という2つの役割があります。シングルスーツの場合フロントボタンは、一つ掛けが正解です。ボタンがいくつあろうと一番下のボタンは留めません。ボタンは、デザイン的な装飾と留めることによりウエスト周りをすっきり見せ、脚を長く見せる効果があります。ボタンを全て留めてしまうとスーツの顔が台無しになってしまいます。

ボタンを留めるとき、外すとき

スーツは基本的に立ち姿を前提に作られています。

- ・立っている時：フロントボタンの留め方にならって基本的にボタンを留める
- ・座っている時：座るときは外します。座ったまま留めているとシワが出来、シルエットが崩れてしまいます。
- ・ベストを着た時：ベストもスーツ同様一番下のボタンをアクセントとして外しておきます。

ポケットの使い方

胸ポケットには、チーフもしくはペンくらいで腰ポケットには、ジャケット形を崩しやすいので、なるべく何も入れないようにしましょう。

ボタンの留め方のマナー

あなたは、上着のボタンの留め方にマナーがあることを知っていましたか？実は、ジャケットやベストの一番下のボタンは留めないという着方のマナーがあるのです。これを、「アンボタンマナー」といいます。スーツによっては一番下のボタンを留めると、そこにヘンなシワが入ってしまうこともあります。2つボタンなら、上1つのみ留める。3つボタンなら、真ん中の1つのみか、一番上のボタンも留めるデザインなら、上2つ留める。このようになります。

失礼の無いスーツの上着のポケット部分のマナー

スーツの上着には何個かポケット部分があるかと思います。そのポケットが非常に便利で携帯電話やスマートフォン、中には電卓から筆記用具入れの代わりとしてボールペン等を入れている方まで目立ちます。しかし、ビジネススーツの上着にあるポケットも使いすぎ

ると見てくれが悪くなり、そしてマナー違反にも繋がります。ここでは、失礼の無いスーツの上着ポケット部分のマナーについてご説明いたします。

ポケットに物を入れすぎない

マナー以前に常識的な話ですが、ポケットに物を入れすぎないことです。ポケットが便利なのか上着部分についているポケットをよく使用しており、ポケットをいつも膨らませて仕事をしている方が多いです。皆様がもしお客様の立場であれば、例えば胸ポケットやスーツの左右についているポケットをいっぱいにさせた営業マンが来たらどう思いますか。お客様は余計にその膨らんでいる部分が気になってしまい、話どころではなく、気が散ってしまいます。

また、上着のポケットに物を入れすぎるといくら皺のないようにスーツを整えてきても、上着ポケット部分で全てが台無しになってしまいます。もし皆様の中でポケットをいっぱいにしている方を見かけましたら直接言うのではなく、その人にも何かしら理由があると思いますので優しく聞いてみて訂正するように言いかけましょう。

ポケットのふたの部分に注意を払う

スーツのポケットには蓋のような部分が付いている方が多いと思いますが、室外では、蓋の部分はは出し、社内などの屋内に入る場合はしまうようにするのがマナーです。一般的にはあまり知られていないかもしれません、こういう部分に注意を払っていると、マナーが出来たビジネスマンとして評価されるのではないかでしょうか。

最後になりますが、失礼の無いスーツの上着ポケット部分のマナーとして一番重要なマナーは物を入れすぎないことです。せっかく綺麗にしているスーツがその部分だけで台無しになってしまいます。もし現在もポケットを膨らませて営業活動や仕事をしている方がいらっしゃいましたらすぐに止めるようにしましょう。

夏場に気を付けたい、ワイシャツの袖まくりのマナー

袖まくりはオフィシャルな場では避ける

夏場にしがちなワイシャツの袖をまくることですが、基本的にワイシャツの袖をまくるのはマナー違反になります。基本的にワイシャツは、カフスボタンを留めて着るのがマナーと言われています。特に取引先との会議や打ち合わせなど、オフィシャルな場では、袖まく

りをしていると印象が悪くなってしまうので注意が必要です。

たとえスーツの下でも袖まくりはマナー違反

スーツを上に着ている状態でもワイシャツの袖まくりをするのはマナー違反となります。たとえスーツを着ていても、ワイシャツは袖口から見えるので、不自然に感じる人もいるので注意しましょう。

営業マンが第一印象を良くするために知っておきたいネクタイの柄の選び方

ネクタイの柄の種類

ネクタイの柄には、様々な種類があります。この項では、良くある定番の柄物について紹介していきたいと思います。まず一つ目は、『チェック』。格子柄のことです。スコットランド発祥の模様、タータンチェックなどは、カジュアルな印象があります。二つ目に『ドット』が挙げられます。小さなドット模様は織細で上品な印象を与える事でしょう。また、大きなドット模様は、ポップな印象になります。

三つ目に『レジメンタル・ストライプ』があります。これは、ネクタイの定番の柄とも言える、斜めストライプの事です。以前は軍隊で使用されていたためか、どこか規律正しい印象になるネクタイです。学校の制服で多く使われる理由はこのためだと考えられます。四つ目に『小紋柄』。小紋柄は、小さな紋を繰り返した柄の事です。小花や抽象模様などシンプルなものや、和風の厳格な印象のネクタイまで多様に揃います。

五つ目には『ペイズリー柄』があります。これは、勾玉のようなデザインのことで、インドのカシミール地方発祥です。織細なディティールが特徴的なデザインです。また、柄ではないのですが、『無地』(ソリッド)のデザインのネクタイもあります。無地はネクタイの素材感が印象的な場合や、光沢感を引き立たせたい場合にオススメのネクタイです。

営業する上ではどのネクタイが適切か

ネクタイを選ぶポイントとして覚えておきたいことがあります。それは、柄にもビジネスシーンにマッチするものと、カジュアルシーンにマッチするものがあるということです。ビジネスシーンにマッチするものとしてあげられるのは、無地やレジメンタル・ストライプ、そして小紋が挙げられます。

また、カジュアルなシーンではレジメンタル・ストライプやチェック柄などがお勧めです。

そして、ドレッシーにスーツを着飾りたい場合にはドットやペイズリーの柄物がお勧めです。営業職の場合は、無地に近い柄物がおすすめです。また、レジメンタル・ストライプはどこにでも使えるという万能感を持ち合わせるため、一本あれば非常に便利です。

自分の印象をよりよく演出するためにネクタイの柄はとても重要です。何気なく選ぶのではなく、少し意識して選ぶようにしましょう。

上着の着脱についてのマナー

ビジネスの場面で、相手方の会社に訪れるという機会もいくつかあるかと思います。しかし、その際、コートはどのタイミングで脱ぐことが重要とされるのでしょうか。

ところで、日本の従来のしきたりとして、他人の家などを訪問する際には、玄関の外であらかじめコートを脱いだ後、玄関のドアを開けるというのが一般的なならわしです。その際、脱いだコートは裏地を表側にして畳んでおきます。これは、コートに付着している汚れや誇れなどを、相手の家にもちこまないようにという気配りからくるものです。しかし、春の花粉の多い時期や、冬のウイルスが多い時期には現代でも有効と言えるでしょう。

一方、欧米では玄関で靴を脱ぐ風習がないため、コートを脱ぐ、というならわしもないそうです。そのため、靴を脱ぐことがマナー違反にあたり、コートを脱ぐと言うこともマナー違反にあたります。現在では、欧米式の考え方方が全体の流れとしてあるため、ビジネスの場でも訪問先ではコートをしっかりと着たまま相手先の会社を訪れるということが一般化されています。その場合、コートは屋内に入ってから脱ぐようにすることが適切です。

ただ、営業マンの方で、格式ばった和風の住宅を訪れるという際には、事前にコートを脱ぐことが必要になるでしょう。

スーツのボタンについてのマナー

スーツの上着の着こなしのマナーとして気を付けたいことにボタンの留め方があります。スーツのボタンは、常に留っているということが礼儀とされます。しかし、ボタンの1番下は外し、ボタンが3つあるものであれば真ん中や上2つを留めることがお勧めです。そして、椅子に座る際にはボタンを全て外してしまうことがマナーとされます。

3つボタンのスーツを見栄え良く着るためのマナー

男性のスーツといえば、2つボタンと3つボタンが主流でしたが、最近では色々な種類の

スーツが発売されています。 基本的には、ボタンの数が少ない程スマートな印象になり、スタイルッシュな感じが出ます。 ですが、ビジネスシーンでは、3つボタンが一番真面目に見え、誠意が感じられるボタンの数になります。 しかし、3つもあるがゆえに、留め方に迷いが出てしまうのも3つボタンの特徴と言えます。 そこで、3つボタンのスーツの着こなし方に置いて、マナーのあるスーツの着こなしとはどのようなものなのでしょうか。

3つボタンのスーツのボタンの留め方

3つボタンのスーツには、通常より少し上部にボタンが集められた、モップタイプのものと、普通に均等に真ん中に集められたタイプのものがあります。 ボタンが中央につけられたものは一般的なタイプのもので、ビジネスシーンに向いていますが、モップタイプのものは少しカジュアル感が出てしまうため、ビジネスシーンには向きといふことが言えるでしょう。

ボタンの締め方ですが、3つボタンである場合には、通常は真ん中のみを閉めます。 これは、襟の折り返しの始まりが一番上のボタンにかかっている場合があるためです。 そのような場合は、一番上は閉める必要がなく、中央のみでよいとされます。 また、そうでない場合は、一番上と二番目のボタンを閉めます。 いずれにしても一番下のボタンは開けておくということがマナーです。

一番下のボタンを留めない理由

ところで、3つボタンのスーツの一番下のボタンを留めない理由ですが、通常、一番下のボタンは「飾りボタン」というものであるためです。 現在のシングルスーツの起源には、モーニングスーツが有り、「挿み一つボタン」という形です。 また、それの略服として、ブラックスーツというスーツがあります。 これもシングルボタンの場合は1つボタンになります。 そして、更にその略服の平服が現在のスーツにあたります。 なので、「礼装用では有りません」という意味で飾りボタンを付けたということが起源になります。

一番下のボタンは飾りであるため、普通スーツでは、ボタンとボタン穴がずれているのが見受けられます。 しかし、スーツが仕立てるものだった時代に、実際に留められる飾りボタンのスーツを製造側が作ってしまったため、スーツの一番下のボタンは通常のボタンと同じなのだという誤認も生まれたようです。

会社訪問時のコートを脱ぐタイミング、脱いだコートの置き方・持ち方のマナー

コートを脱ぐタイミング

コートを脱ぐタイミングですが、会社を訪問する前には脱いでおくようにしましょう。会社内でコートを脱ぐと不格好になってしまいますし、手間がかかり時間のムダにも繋がります。

コートの持ち運び方、置き方

脱いだコートは、半分に折りたたみ、腕にかけて持つようにしましょう。グチャグチャの状態で持つのはマナー違反ですし、周りから見てもあまりよい印象は受けません。綺麗に畳むようにしましょう。

コートを置く際は、特に指示がない場合は、自分の持ってきたかばんを床に置き、その上にコートを載せます。この時ですが、コートの裏地が見えるように置くことがマナーとされていますので、注意しましょう。

ビジネススーツのマナー | 恥をかく前に知っておきたいルールを解説

<https://customlife-media.jp/suit-etiquette>

【保存版】ビジネススーツの基本マナーと、華麗に着こなすポイント

<https://www.o-sentaku.net/order-suit/archives/247>

～スーツの各名称について～

<http://www.suits-master.com/knowledge/name.html>

イラストで紐解くメンズスーツ＆ジャケットヒストリー

<https://muuseo.com/square/articles/350>

SUIT MASTER

スーツの収録情報サイト
（スーツマスター）

オーダースーツとは

スープラントについて

スーツ豆知識

スーツ周りのバーツ

スーツお役立ちコンテンツ

日頃ケアの基本

オススメオーダースーツショップ

ヒルズメンズ俱楽部
貴方の個性を引き立てる、ワンランク上のスーツをご提供するヒルズメンズ俱楽部。
スタッフが心をこめてお話を伺い、貴方にぴったりのスーツをご提案いたします。東京駅八重洲口から徒歩3分の立地で、探しのための来店も樂々！

【東京】
〒103-0028 東京都中央区八重洲1-4-20 MTエスティートビル4階
【TEL】050-5007-3822
【営業時間】11:00~19:30
【定休日】月・火

【大阪】
〒530-0001 大阪市北区博田1丁目1-3 大阪駅前第3ビル2F
【TEL】050-5007-3294
【営業時間】11:00~19:30
【定休日】月・火

スタッフブログ [一覧を見る](#)

2018.01.05
*2018年程賛年

2017.12.20
良いお年をお迎えくださいませ

2017.12.05
師走ですオーダースーツを祈願される方はお早めに

ジャケット（ラベル・下襟）

「返り」と呼ばれることがあります。テールドカラーの下襟部分を指します。きざみの切り替えを境に上襟はカラー、下襟はラベルと呼び分けます。このラベルにも流行があり、形や幅、きざみの角度、位置などで雰囲気が大きく変わります。

～スーツの各名称について～

ジャケット（ショルダーライン）

ジャケット肩のライン（肩押）。ジャケット全体のシルエットやフィット感・着心地が異なるのでスーツの中でも大切な部分です。

《ナチュラルショルダー》

自然で無理のないシルエット、肩パッドが入っていないものか、薄いパッドが入った程度で肩ラインを強調せぬみのあるラインが特徴です。ナチュラルショルダーの中でもアメリカンカラーデザインの肩縫を持つ物は「ソフトショルダーモデル」という新しい呼び方もあります。



《ナローショルダー》

「狭い肩」を意味し、袖付け線をショルダーポイントの内側にとって肩幅を狭くしたものです。アイビーリーグモデルの特徴もあります。

《ドロップショルダー》

袖付け線が腰よりも肩の方に落ちているラインで、全体に丸みがあるのが特徴です。かつて、ヨーロッパ型肩広の桿脚でもあるコンチネンタルモデルによく見られた肩縫です。



《ピルトアップ・ショルダー（ローブドショルダー）》

袖山（肩先）を通常よりも少し高く盛り上げた形です。スーツ発祥の地サヴィルロウでも伝統的に受け継がれてきた由来ある型。



《ウイングショルダー》

（ローデンショルダー／ウエルテッドショルダー／オーバーショルダー／フランジショルダー）
肩先に翼のような張り出しのついたショルダーデザインです。

《コンケーブドショルダー》

肩先に窓のような張り出しのついたショルダーデザインです。



《スクエアショルダー》

肩先が角張った肩縫のものを言います。肩先がやや持ち上がって見えるような四角い肩縫で、男性的なラインを表現。典型的な美國型のスーツによく見られます。

ジャケット（ラベル・下襟）

「返り」と呼ばれることがあります。テールドカラーの下襟部分を指します。きざみの切り替えを境に上襟はカラー、下襟はラベルと呼び分けます。このラベルにも流行があり、形や幅、きざみの角度、位置などで雰囲気が大きく変わります。

2017.11.20

【1】ノックドラベル
ノックは「V字型の刻み」という意味で、ゴージライン（上襟と下襟の縫い合わせ部分）がまっすぐで斜めにぎりになっています。このタイプはスーツの定番とも言えます。

【2】ピークリーラベル
ピークリーとは「先のとがった」という意味で、下襟の先が斜角で先が上に向いている形を指します。フォーマルスーツによく見られる形状です。

【3】セミピークリーラベル
ピークリーラベルの下襟の角度を少しだけ水平にカットした様です。

【4】ローリングダウンラベル
第一ボタンのボタンホールが隠れるくらい折り返っている様です。このラベルの場合、第一ボタンを開めないと着る事が基本です。

【5】フィッシュマウスラベル
上襟が小さくて丸く、下襟が水平にカットされていて、その形状が魚の口に似ていることからこのように呼ばれてています。

【6】クローバーリーフラベル
クローバーの葉のような形に丸くカットしたものです。コンテンポラリーモデルの代表的なラベルです、その柔らかい印象からレディースジャケットなどでよく見られます。

【7】ショールカラー（ヘチマ襟）
首からショールを掛けようねな黒縫いが特徴的で、後ろから前にかけて刻み目がなく、ヘチマ状に粗暴に折り返して曲線的に作られた一枚襟です。タキシードによく見られ、優雅な印象を与えます。



ジャケット（その他の部分）

① フラワーホール（ラベルホール）
もともと風呂のために梶を立てて着たときのボタンホールの名残です。その他の、英國でここに花をさして飾ったことからこの名が付きました。最近は形態化し実際の問い合わせないものも多いです。

② ゴージライン
ジャケットのカラー（上襟）とラベル（下襟）の縫い合わせた部分のことです。このゴージラインは着用により角度が変わったり上下したりと、その変化によりジャケット全体の個性や印象を大きく左右します。

③ アームホール（袖ぐり）
前身頃と後身頃をあわせたときに袖をつけるために開いている部分です。全体のデザインによってこの大きさや形も変化し、スーツの着心地を左右します。

④ 脇ポケット
通常は箱型のものが多いのですが、最近ではネポケット（斜めに外向き）やパルカポケット（船底ポケット）、アウトポケット（ジャケットなどによく用いられる）など、様々なデザインがあります。

⑤ フロントダーツ

腰の下からフロントポケットにかけて前身頃の左右にとったつまみ縫いのことで、立体的なシルエットを出しフィット感も出て来ます。

【6】チエンジポケット

ズボンの上に記された小さなポケット。もともとは小銭などを入れるために付けられたもので、現在の多くは装飾としてついています。

【7】脇ポケット（サイドポケット）

フラップ（ふた）付きや箱型ポケット、アウトポケット等、様々なデザインがあります。

【8】フロントカット

ジャケットの前縫いカットのことを言います。大きく分けて「ラウンドカット」と「スクエアカット」とがあり、前者はシンブルプレスト型のジャケットに、後者はダブルプレスト型のジャケットに用いられることが殆どです。その他セミスクエア（やや湾曲している角型）などもあります。

【9】カラー（上襟）

背広襟の上部分の襟。

【10】バック・シーム/背縫い縫

ジャケットの背中の真ん中の縫い合わせのことです。背縫いともいいます。

【11】肩しばり

ウエストラインの絞りのこと。ブリティッシュとイタリアンは肩絞りが入り、アメリカンは入らず肩型。

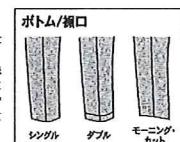
【12】ベント（ベンツ）

ジャケットの背中中心や両脇の裾に入ったスリットを指します。「ノーベント（切れ込みなし）」「センターベント（背の縫い目に1本切れ込み）」「サイドベンツ（両脇に切れ込み）」「フックベント（見た目はセンターベントだが切れ目がカギ伏）」などが挙げられます。

ズボン（スラックス）

《褶（カフ）》

パンツのその部分です。裾を内側に折り返してまり縫いをしただけの仕様を「シングルカフ」、外に折り返したものを「ダブルカフ」と言います。フォーマルシーンではシングルカフが基本になります。ダブルはカジュアルな印象を与えます。「モーニングカット」は、折り返しはだけずに裾口を斜め後ろにカットしたものです。前縫のたるみが減り、パンツのラインがきれいに出る。?モーニンググートやダイレクターズスースに合わせる、ドレッシーなズボンに多くみられるカット法として知られています。



《ウエスマントラス》

スラックスの腰帯部分を指します（ウエストバンドがなまつた日本での俗称）。

《直ポケット》

スラックスの脇の縫い目を利用して付けられたポケットです。斜めポケット、横ポケット、Lポケット、両玉ポケットなどがあります。

《ブリーツ（タック）》

スラックスに立体感を出し動きやすくなる効果があります。1タックやノータック、アウトタック（外向きのブリーツ）やインタック（内向きのブリーツ）。数が多いものはクラシック調で、現在はノータックが主流になります。

《フレイ》

スラックスのジッパーやボタンを隠す前部分の比翼を指します。

《ビスピケット》

パンツの後ろポケットのことを言います。左側だけか、もしくは両側にボタンがついているものが多いです。

《クリース》

パンツの両足中央部に入れられたアイロンによる折り目。パンツに立体感を与え、足のラインを奇麗に見せるもので、树にきれいに入っていないとだらしなく見えてしまいます。放っておくと次第に消えてしまうので日々入れて維持が必要。

[HOME](#) > [スーツの豆知識](#) > [スーツの各名称について](#)

▲ページトップ



© EXEO JAPAN All Right Reserved.

お問い合わせ 会社概要 免責事項 個人情報保護方針



シーンに応じて 靴を選ぶのがマナー

革靴を履く機会はビジネスや結婚式、お葬式や葬儀（面接）など実は結構あります。しかし一言で革靴と言っても種類がたくさんあり、シーンによってどんな靴を履けばいいのか迷うこともあります。そんな場合に役立てるため、種類別やシーンによっての選び方をご紹介。知っている方はもう一度復習の意味で、知らないかった方はここでマナーを学び、買う時やいざ必要なシーンになった時に迷わないようにお役立てください。

1.まずは革靴の種類を知る | 2.シーン別の革靴の選び方 | 3.スーツ×革靴、ベルト×革靴コーディネートのコツ

いいね！ ツイート

まずは革靴の種類を知る

ストレートチップ



横一文字の切り替えがつま先にいる靴です。「ストレート・トゥ・キャップ」と呼ばれる場合もあります。革靴は履きシワがどうしても付いてしまいますが、ストレートチップの靴は一文字の切り替えよりも前のつま先にシワが付いていくので、黄ばみを保ちやすい特徴があります。

ダメージを受けやすいポイント



ビジネスシーンでよく履かれるストレートチップは、ヒールへのダメージが避けられません。ヒールが削れ過ぎているビジネスマンをよく見かけますが、後ろからの見た目が悪く、印象が悪化しています。

修理のタイミングは、ヒールの一一番下に付いているトップリフトが上部の革の部分まで削れてしまう直前が最適です。革の部分まで削れてしまうと失われた革の補修代金が余計にかかるてしまうので、トップリフトの交換だけで済むタイミングで修理するのがおすすめです。

>>「ヒールトップリフト交換」を確認する

ウイングチップ



つま先の切り替えがW字型で傾いた付けられた靴です。その名の通り、鳥の翼のような見目のためそう呼ばれています。メダリオン（つま先革の穴跡）やバーフォレーション（アバー（甲革）に施される大小の穴跡）とい装飾と一緒に施されることがあります。

ダメージを受けやすいポイント



アッパーに装飾が施されていることが多いウイングチップは、革を縫い合わせている糸がほつれることよくあります。糸は力所がほつれ始めるとそのままりもどんどんほつれてしまうので、早めに修理することが大切です。

小さいほつれだからと甘く見ずにこまめに修理することが、靴を長持ちさせる秘訣です。

>>「縫い」を確認する

プレーントゥ



甲やつま先に、装飾やステッチが施されていないシンプルな靴です。内羽根式か外羽根式などの違いがあります。シーンによって用途は様々なので、実用性が高い靴といえます。見た目がシンプルなため、靴の作りの良し悪しが表れやすい特徴もあります。

ダメージを受けやすいポイント



ストレートチップと同じく様々なシーンで履くことができるプレーントゥは、ソールが摩耗してしまい空いてしまうことがあります。ソールに穴が空くとそこから水が詰め込んでくる上に、削れ過ぎるとオールソール交換という大がかりな修理でソール全体を新しいものに替わなければならなくなることがあります。定期的にソールの状態を触ってチェックして、革が弱くなってきたと感じたらハーフラバーソールかハーフレザーソールで補強するようにしましょう。

>>「ハーフソール補強」を確認する

Uチップ・Vチップ



U字型のモカシン使いでアッパーを縫い合わせた靴です。その見た目から「チップ」と呼ばれることがあります。靴に厚みを出せる傾いないので、幅広の足や甲高い足にも比較的フィットしやすい靴です。

ダメージを受けやすいポイント



ストレートチップとプレーントゥに次いで履く頻度の多いUチップ・Vチップは、かかとの内側のカウンターライニングと呼ばれる革が破れることが多いです。これは、履くときに靴べらを使わないことが主な原因で、ひどい場合は踵口のトップラインまで剥げることがあります。カウンターライニングは革が絞れたタイミングで早めに修理するようにしましょう。また、破れの原因となる履き方についても、携帯用の小さな靴べらを持ち歩くなどして改善していくことが大切です。

>>「カウンターライニング」を確認する

モンクストラップ

バックル留めのストラップで甲を締める靴です。「モンク」とは修道僧のことです。その昔、アルプスの修道士が履いていた靴をもとにデザインされたためこの名が付いています。

ローファー

U字のモカステッチが特徴のスリッポンです。デザインも豊富で、「ベニー・ローファー」「ヴァンプ・ローファー」「タッセル・ローファー」などがあります。



紐よりもカジュアルな雰囲気があり、ストラップの留め具も印象的です。

ダメージを受けやすいポイント

靴紐がなく脱ぎ履きが簡単にできることから「なまけもの」の意味である「ローファー」名付けられました。

ゴムが伸びやすいというデメリットもあります。

ゴムが伸びてしまった場合には、古いゴムを新しいものに交換することで修理できます。フィッティングがゆるいと感じたタイミングでゴムを交換するようにしましょう。

>> 「モンクストラップゴム交換」を確認する



靴紐がなく脱ぎ履きが簡単にできることから「なまけもの」の意味である「ローファー」名付けられました。

ダメージを受けやすいポイント

ローファーは、靴底とアッパーを組み合わせて接着剤だけで固定している作りのものが多いため、ソール全体が剥がれてしまうことがあります。

片足のソールが剥がれたら、もう片足のソールも同様に剥がれかかっていることがありますので、片足が剥がってきた時点でも足とも修理することを考えてください。

ソールが革でできているものに関しては、接着をした後に靴底とアッパーをミシンで縫い付けてさらに強度を増すことができます。どれかべストな方法か迷ったら修理店に相談してみましょう。

>> 「接着」を確認する

ホールカット



1枚の革だけで作られる靴です。かかと以外に紐を作らず、アッパーを包み込むように仕上げるため、作るには非常に高い技術を要する靴でもあります。

装飾もなく、上品なイメージが特徴といえます。

ダメージを受けやすいポイント



1枚の革だけで作られるホールカットは高級な靴でよく用いられるデザインで、使用される革もキメが細かくしなやかなものが多いのが特徴です。

上質な革を長い間使ったままでは、定期的なメンテナンスが不可欠です。履く頻度にもよりますが、月に1回のベースアッパーにしみ込んだ汚れをきれいに落とし、新しいクリームで栄養を与えるのが理想的です。

雨シミができたリオノガタに見ついたときは、プレミアムクリーニングで靴の内側まできれいにするのがいいでしょう。

>> 「プレミアムクリーニング」を確認する

サイドエラスティック



アッパーの側にエラスティック（ゴム）を走らした靴です。スリッポンの一種で、ゴムの分を出すように革帯を並べるのが一般的なデザインです。エラゴンなど印象を損なわないよう、ゴムをいかに靴に溶けこませるかが求められる靴です。

ダメージを受けやすいポイント



サイドに付いているゴムでフィッティングを調整するサイドエラスティックは、長く履いているうちにサイドのゴムが伸びてフィッティングがゆるんでしまいます。ゆるいフィッティングのまま靴を自らして履き続けると、歩き方がおかしくなって身体に痛みが生じることもありますので、早めに新しいゴムに交換しましょう。

>> 「サイドゴア交換」を確認する

デッキシューズ



靴底に切り込みの入ったラバーソールが使用されている靴です。元々は、ヨットやボートの甲板で滑らないよう、そのような工夫がされています。一般的なデッキシューズは縫い付けており、水に強いオイルレザーを使用した革製のモカシン（リザードの縫い方）タイプが多いです。

ダメージを受けやすいポイント



デッキシューズはモカステッチと呼ばれるU字型の縫い方で作られていることが多く、履き口のモカステッチが外れて糸がほどけてくることがよくあります。この原因は、歩く際に履き口に強いテンション

がかかってしまうことがあります。一旦糸がほどけはじめるとモカステッチのほつれはどんどん広がりますので、ほつれに気が付いたら早めに修理を行いましょう。

>> 「モカほり」を確認する

内羽根と外羽根



内羽根式は、靴ひもを通す穴の甲より前のアッパーに沿って入っている靴のことです。

外羽根式は、靴ひもを通す穴の空いた革が、外で開いている靴です。

内羽根式の特徴は羽根が外側に開かない作りになっており、反対に外羽根式の特徴は羽根が外に開く作りになっています。

代表的な修理メニュー



シーン別の革靴の選び方

ビジネス

ストレートチップやブレントウであれば間違いありません。色は、黒と茶系を持っていると便利です。また、ホールカットやウイングチップ、モンクストラップなどもスーツスタイルによっては合わせられます。毎日スーツを着るのであれば、種類や色の異なる靴を多め持っていては、スタイルや季節に合わせて楽しむことができます。



ビジネスでは向かないのはスエード素材の靴です。Uチップの靴もカジュアルな印象があるため一般的ビジネssceneでは向かないといえます。

リクルート

就職活動や面接の時に履く靴でまず間違いがない種類は、内羽根のストレートチップでは黒です。他に選ぶとすれば、格好がなにもないブレントウもあります。いずれにせよ、必ず紳靴を選んでください。

逆に、ステッチド印象的カーリングチップの柄や、カジュアルな印象を与えるブラウンカラーの靴はふさわしくないので絶対に避けてください。

また、同じ靴を何足も持つと汚れや傷みも目立つので、シーケア用品でこまめな手入れも重要。可能ななら2足以上持っているとローテーションで履けるので非常に便利です。



結婚式

結婚式では組付けのストレートチップを選ぶのが基本です。ブレントウでも失礼ではありませんが、メダリオンのようなつま先に穴の空いているデザインはふさわしくありませんので避けください。

色は黒が無難ですが、茶色が決してダメわけではありません。

マナーとして、スピーチを頑丈でいる時や親族の結婚式などでは、黒を選ぶのが無難です。通常のゲストや二次会では茶系の靴でも問題はありません。

履いてはいけない靴はクロコダイルです。動物の皮や毛を連想させるものは、殺生に涉及するので結婚式では絶対が悪いされています。また、ブーツタイプのシューズも結婚式ではふさわしくないので、例え新しい丈でも履くのは避けください。



お泊夜・お葬式・法事法要

お葬式のようなフォーマル場面ではさわいのは内羽根のストレートチップで、色は黒です。もしくはブレントウでも問題はありません。

履いてはいけないのが、クロコダイルなどのアシマル筋です。理由は結婚式と同様、殺生に涉及するからです。また、モンクストラップのような金属の飾りのある靴やエナメルのような光沢のある靴、ショートブーツやスニーカー、カジュアル過ぎる靴もふさわしくありません。



パーティ

ストレートチップやブレントウの黒の靴であれば、ホテルのようなフォーマルな場所でも問題なく、どんな場所でも合わせられます。レストランのような少しカジュアルな場所であれば、茶系の靴でも問題はありません。結婚式の二次会のように、カジュアルな雰囲気のパーティーでしたら、ローファーやワイングチップなど紹介に合わせた革靴を履くのも間違ひではありません。



スーツ×革靴、ベルト×革靴コーディネートのコツ

スーツ×革靴のコーディネート

黒やチャコールのスーツには、やはり黒の靴を合わせるのがベストです。

ネイビーブルー、ライトグレーのような明るい色のスーツになれば、茶色の靴でもコーディネートしやすく、見た目も違和感がありません。

ただし、スーツのトーンに合わせ、靴の色を進むことをおすすめします。

例えば、スーツが暗めの柑色なのに明るい茶色の靴は違和感があります。その場合は、深い目の茶色をチョイスします。逆に、明るい色のスーツでしたら、トーンが明るいの茶色にすると全体のコーディネートもまたよりやすくなります。



ベルト×革靴のコーディネート

基本はやはり、靴と同系色のベルトをコーディネートすることです。黒は問題ないと思いますが、茶系の場合は同系色がたくさんあります。まったく同じに揃えるのは無理なので、違和感のない同系色にすることが

ポイントです。

そういう意味で考えると、茶色の靴は一足持っているとなにかと便利かもしれません。



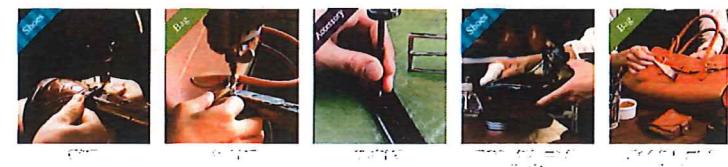
「いいね!」 ヴィート

その他のお役立ち情報

[大切な革靴を長く履くために日頃から気をつける6つのこと](#)

[革履きの必要な6](#)

スピカの修理・サービスメニュー



[会社概要](#) | [お問い合わせ](#) | [特高級靴引地に基づく表示](#) | [プライバシーポリシー](#) | [お問い合わせ](#) | [サイトマップ](#)

© 2014 Spica Inc. 〒106-0046 東京都港区元町3-10-6

